

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
衛星・科学業務委員会（第16回）
議事概要**

- 1 日時 平成30年1月22日（月）10:30～11:30
- 2 場所 中央合同庁舎4号館 共用1211会議室
- 3 議題
 - (1) 衛星・科学業務委員会（第15回）議事概要（案）について
 - (2) ITU-R SG4関連会合（2017年10月）の報告書（案）について
 - (3) ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）への日本寄与文書（案）について
 - (4) ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）の外国等寄与文書の審議表（案）について
 - (5) ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）の対処方針（案）について
 - (6) その他
- 4 配付資料
 - 資料 衛・科-16-1 衛星・科学業務委員会（第15回）議事概要(案)
 - 資料 衛・科-16-2 ITU-R SG4関連会合（2017年10月）の報告書(案)
 - 資料 衛・科-16-3 ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）への日本寄与文書(案)
 - 資料 衛・科-16-4 ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）の外国等寄与文書の審議表(案)
 - 資料 衛・科-16-5 ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）の対処方針(案)

参考資料 1 衛星・科学業務委員会 衛星業務WG審議報告
参考資料 2 ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）の開催案内
参考資料 3 ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）の日本代表団一覧（予定）
参考資料 4 今後のITU-R SG4及びSG7関連会合の開催予定
参考資料 5 衛星・科学業務委員会 構成員名簿
- 5 出席者（敬称略、順不同）

主 査：加藤 寧
構 成 員：藍沢 志津、阿部 宗男、稲村 賢治、潮田 芳晴、佐藤 祐子、
平 和昌、徳永 恭子、中道 正仁、橋本 明、花土 ゆう子、
日野 和恵、三谷 政昭
関 係 者：正源 和義、筋誠 久、福家 直樹、中澤 進、横山 隆裕
事 務 局：高地 課長、安澤 課長補佐、坂下 課長補佐、郷藤 衛星推
進係長（以上、基幹・衛星移動通信課）
- 6 議事概要
開会に際し、主査から、構成員に加え関係者も専門的立場から審議に

参加するとの説明があった。

(1) 衛星・科学業務委員会関連WG審議報告

参考資料1に基づき、阿部構成員（衛星業務WG主任代理）から、衛星業務WGの活動報告がなされた。

(2) 衛星・科学業務委員会（第15回）議事概要について

資料 衛・科16-1に基づき、衛星・科学業務委員会第15回会合の議事概要（案）について事務局から説明があり、特段の意見がある場合は、2月3日(金)までに事務局あて連絡することとなった。

(3) ITU-R SG4関連会合（2017年10月）の報告書（案）について

平成29年10月10日（火）から10月27日（金）まで開催されたWP 4A、WP 4B及びWP 4C会合並びにSG 4会合について、資料 衛・科16-2に基づき、事務局から報告があった。

主なやり取りは、以下のとおり。

橋本構成員：SG4の報告書のSection 5 BR局長からの挨拶とSection 6のRAG2017会合の報告に同じことが書かれている。通常、BR局長はRAGの報告をしないので、重複部分はRAGの報告ではないだろう。後で見直していただきたい。

事務局：確認の上、修正する。

(4) ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）への日本寄与文書（案）について

WP4Aへ7件、WP4Bへ1件、WP4Cへ2件、合計10件の日本寄与文書（案）について審議がなされ、これらの寄与文書（案）について、以下の議論の後、承認された。

- ・ 新報告草案ITU-R S.[NGSO_FSS_BIU]に向けた作業文書の変更提案（4A/J-1）

資料衛・科16-3-1に基づき、事務局より説明があった。
特段の質疑なし。

- ・ 議題7 Issue G AP30, 30A のもとで第1地域及び第3地域ネットワークが暫定から確定に変わるときの参照状況の更新についての考察（4A/J-2）

資料衛・科16-3-2に基づき、正源氏より説明があった。
特段の質疑なし。

- ・ 議題7 Issue J AP30, Annex 1, Section 1, pfd制限の改定のCPMテキストの訂正提案（4A/J-3）
 資料衛・科16-3-3に基づき、正源氏より説明があった。
 特段の質疑なし。
- ・ 新報告草案ITU-R M.[IMT&BSS COMPATIBILITY]に向けた作業文書への修正提案（4A/J-4）
 資料衛・科16-3-4に基づき、福家氏より説明があった。
 特段の質疑なし。
- ・ WRC-19議題9.1、Issue 9.1.2のCPMテキスト草案に向けた作業文書への修正提案（4A/J-5）
 資料衛・科16-3-5に基づき、福家氏より説明があった。
 特段の質疑なし。
- ・ 27.5-29.5 GHz帯におけるESIMと固定サービス局間の共用、共存検討に関する新報告草案ITU-R S./F.[ESIM-FS]に向けた作業文書の修正提案（4A/J-6）
 資料衛・科16-3-6に基づき、福家氏より説明があった。
 特段の質疑なし。
- ・ 27.5-29.5 GHz帯におけるESIMと移動サービス局間の共用、共存検討に関する新報告草案ITU-R S./M.[ESIM-MS]に向けた作業文書の修正提案（4A/J-7）
 資料衛・科16-3-7に基づき、福家氏より説明があった。
 特段の質疑なし。
- ・ レポートITU-R BO.2071-1の改定草案（4B/J-1）
 資料衛・科16-3-8に基づき、事務局より説明があった。
 主なやり取りは、以下のとおり。

橋本構成員：タイトルがA PRELIMINARY DRAFT REVISION OF REPORTとなっているが、あともう1回ほどの会合で改定作業を終了させる予定だという理解でよいか。

中澤氏：その通り。

橋本構成員：タイトルに「A」がついている。本文中ならいいかもしれないがタイトルに「A」がつくということは別案が出るかもしれないと解釈できる。日本としての方針は固まっているのだからタイトルに「A」はいらないのでは。

中澤氏：削除する方向で検討したい。

- ・ WP4Aへのリエゾン提案（4C/J-1）

資料衛・科16-3-9に基づき、事務局より説明があった。
主なやり取りは、以下のとおり。

橋本構成員：勧告のタイトルに「in the IMT-2GHz bands」とあるが、このIMT-2GHz bandsとはIntroductionにある1980-2010 MHzと2170-2200 MHzの2つを意味しているのか。

横山氏：その通り。

橋本構成員：この表現はChairman's reportにあるため、日本が提案しているわけではないと理解している。最近勧告等のデータベースができたため、周波数帯から検索しやすいように、周波数帯はなるべくタイトルに書いた方がいい。帯域が多ければ別だが、2つなら一般的には具体的に記載する。その点は会合で議論していただきたい。

横山氏：今までこのタイトルで議論しており、背景があるかもしれないので、提案元の三留氏と相談したい。

橋本構成員：MSSと共用になっている本寄書の対象周波数帯以外にも2GHz帯のIMT bandsはあるので特定した方がよいと考える。

加藤主査：関係者で議論して、後日事務局に通知していただきたい。期限はあるか。

事務局：1月26日までに提出していただきたい。

- ・ 作業文書ITU-R M.[MSS&IMT-ADVANCED SHARING]の変更提案（4C/J-2）

資料衛・科16-3-10に基づき、事務局より説明があった。
特段の質疑なし。

(5) ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）の外国等寄与文書の審議表（案）について

平成30年1月22日時点で公表されている外国入力文書の審議表（案）について、資料衛・科16-4に基づき事務局から説明があり、承認された。

(6) ITU-R SG4関連会合（2018年2-3月）の対処方針（案）について

対処方針（案）について事務局から資料衛・科16-5に基づき説明をし、対処方針（案）に基づき対処することが承認された。

(7) 今後のスケジュールなど

事務局から、APG19-3への日本寄与文書の提出期限が3月5日なので、

今回のSG 4関連会合の結果を受けて寄与文書を修正する場合は、事務局への提出期限を現地時間の3月1日とすると説明があった。

以上